

心も体も元気な子供を育成するために、家族みんなで、**はやね・はやおき・あさごはん**を実践しましょう！！

希望の風

『夢と志に向かう児童を全力で支援する学校』



学校だより 第9号

平成30年11月30日発行

石巻市立中津山第一小学校

電話番号 76-2040

最後まで粘り強く！

もうすぐ、二十四節季の「大雪」。朝夕の寒さが一段と厳しくなつてまいりましたが、休み時間の校庭からは子供たちが友達と楽しそうに遊ぶ声が響いてきます。

さて、11月も地域・保護者の皆様のお力をお借りして実施した様々な教育活動に、一人一人の子供たちが目標をもって取り組むことができ、目指す児童像にまた一步近付くことができました。誠にありがとうございました。成年もあとわずかとなりましたが、過日実施の持久走記録会で発揮した粘り強さを発揮し、2学期の最後に互いの成長をたたえ合い、良い気持ちで冬休みを迎えさせたいと思います。子供たちが思う存分に自分の力を発揮することができるよう、各御家庭におかれましては、引き続き「はやね・はやおき・あさごはん」を中心とした体調管理をよろしくお願いたします。

なお、本校のHPでも子供たちの学校生活の様子を紹介しておりますので、こちら是非御覧ください。



11/12(月)「持久走記録会」

業間マラソン等、日頃の練習の成果を発揮し、最後まで粘り強く走り切ることができました。周囲の応援が力になったと感じた子も多かったようです。



12月の主な予定

日	曜	主な予定	日	曜	主な予定
3	月	臨時T 学校訪問指導 5校時限	14	金	BT 学びの日(下学年) 学期末大掃除①
4	火	朝会 委員会活動	17	月	書きぞめ講習会(4・6年) 給食費引落日 学期末大掃除②
5	水	たてわり遊び ALT PTA 執行部会 19:00	18	火	音楽集会 学期末大掃除③
6	木	中一タイム(SEL) 書きぞめ講習会(3・5年) クラブ活動① SSW	19	水	読聞(高学年) ALT 学期末大掃除④
7	金	BT SC 集金袋配付日 租税教室(6年) 学びの日(下学年)	20	木	中一タイム(書写) 学期末大掃除⑤ SSW 小中交流あいさつ運動(桃生中生来校)
10	月	集金日 書きぞめ講習会(4・6年)	21	金	臨時T 4校時限 第2学期終業式
11	火	児童集会	24	月	冬季休業日~1/7(月)
12	水	臨時T 読聞(中学年) 語り(高学年) 学びの日(上学年)	28	金	学校閉庁~1/3(木)
13	木	中一タイム(書写) 書きぞめ講習会(3・5年) SSW			

※ BT・・・Bタイム SC・・・スクールカウンセラー SSW・・・スクールソーシャルワーカー
SEL・・・人とより良くかかわるためのスキルや自分の気持ちの上手な主張の仕方等を学びます。
読聞・・・読み聞かせ 語り・・・郷土の歴史に詳しい千葉昌子さんの話を伺います。
SC・SSWに相談をしたい方は時間の予約をとりますので学校まで御連絡ください。

1月の主な予定

8日(火) 第3学期始業式
11日(金) 校内学力テスト
21日(月)~25日(金) フリー参観 校内書きぞめ展
31日(木) たてわり遊び クラブ活動

校長室から（9）

【時は全てのものに平等に与えられているはずだが・・・】

神取橋の下に白鳥が戻ってきた景色を見て、「もうこんな季節になったのか。時が過ぎるのは速いなあ。」と思わずつぶやいてしまいました。

しかし、時の流れを速いと感じない人がいるのも事実。特に、子供にとっての時間はゆっくり経過するとか・・・。

このことについて、スタンフォード大学の神経科学者 David Eagleman(デイヴィッド イーグルマン) は「記憶が詳細なほど、その瞬間は長く感じられる。しかし、周りの世界が見慣れたものになってくると脳が取り込む情報量は少なくて済み、時間が速く過ぎ去っていくように感じられる。」と言っています。

さらには、この脳の特性を利用して「自力で時の流れを遅くすることができる。」とも言及しています。

それは、次の5つのことだそうです。

- 学び続けること。(新しい経験が得られて、時間感覚がゆっくりとなる。)
- 新しい場所を訪ねること。(定期的に新しい環境に脳をさらす。)
- 新しい人に会うこと。(他人とのコミュニケーションは脳を刺激する。)
- 新しいことを始めること。
- 感動を多くすること。

とりあえず、12月は自力で時の流れを変えてみようかと思案しています・・・。

【無事これ名馬・・・】

今月号の話題を何にしようかと考えているとき、競馬のジャパンカップでアーモンドアイという馬がコースレコードで優勝したというニュースが飛び込んできました。競馬ファンであるならば、3歳牝馬の勝利のみならず、この記録がいかに凄いものであるのか、お分かりいただけるとと思います。

私は、馬券を買ったりはしないのですが、従兄弟が長い間JRA（日本中央競馬会）の騎手をしていた関係で、少なからず競馬に興味をもち、福島競馬場まで従兄弟の雄姿を何度か見に行ったものです。

競馬関係者は、最高峰の戦いであるグレードワン（G1）レースに出場できる馬、勝てる馬を育てるために、どれほど苦勞をしているのか聞くに及びませんが、その中で、関係者がそろって答えるのが「無事これ名馬」だとか・・・。この言葉、作家の菊池寛さんの造語であると言われてはいますが確かなことは分かりません。「大きなけがをせず、元気に走る馬が一番」という意味になると思いますが、その通り、どんなに優秀な馬であってもけがをしたら能力を発揮することはできませんから、この言葉、言い得ています・・・。

さするに、本校の児童109名は、名馬であります。もちろん、骨折したり、腰をけがしたりした子もいましたが、交通事故に遭うなど大きなけがはなかったどころか、心も体も頭も確実に成長して今年1年を終えることができそうです。これはもう名馬以上の名馬です。

これもひとえに保護者の皆様をはじめ地域の方々の御支援、御協力のお陰と感謝申し上げます。あと1か月、油断することなく、2学期のまとめ、そして今年の締めくくりをしっかりとってまいりたいと思います。

（「子供を馬に例えるなんて・・・」と不快に思われたらすみません。話の流れで例えたものであり、決して他意はございません。）

